

## 国語

## 第3問 問1 (ア)

### 解釈に必要な文法・古典常識を確認する設問で、各学力層で差がついた

#### 結果分析

語句の解釈についての設問。傍線部「さりぬべき」の「さり」の指示内容を文脈からとらえること、助動詞「ぬ」「べし」の意味を適切に押さえることが判断のポイントになりました。

#### 指導のご提案

共通テストまであと1か月となり、短期間で効果が出るのは古典の基礎部分でしょう。今から難しいことをやろうとするより、基礎をおさらいしておくことをお勧めします。

#### ● 識別

助動詞「ぬ」「べし」の識別が問われています。「ぬべし」と連語の形でよく問われるので、あらためて意味を確認しておきたいところです。

#### ● 古典常識

当時は親に代わって乳母と呼ばれる養育係をつけることが普通であったように、古文の世界には現代の感覚とは異なる「常識」があったことを知っておくのも読解の助けになります。

#### 第3問 問1 (ア)

正解率	53.6%
SS65~70	91.1%
SS60~65	82.5%
SS55~60	71.6%
SS50~55	58.7%
SS45~50	46.1%

2021年度第3回ベネッセ・駿台  
大学入学共通テスト模試

「国語」

受験者数:	278,158人
平均点:	120.1点
標準偏差:	32.3

だにも知らぬことを悲しむに、これはまた、父を腹の中にて先立てぬること、いかばかりか思はんなど思ひつづけて、かたはら去らず置きたるに、折節、乳など持ちたる人だになしとて、尋ねかねつつ、我がそばに臥せたるさへあはれなるに、**A**この寝たる下の、いたう濡れにければ、いたはしく、急ぎ抱き退けて、我が寝たる方に臥せしむるに、げに深かりける心さしも初めて思ひ知られしか。

しばしも手を放たんことは名残惜しくて、四十日余りにや、身づからもあつかひ侍りに、山崎といふ所より、**B**さりぬべき人を語らひ寄せて後も、ただ床を並べて臥せ侍りしかば、いとど御所さまの交じらひも物憂き心地して、冬にもなりぬるを「さのみもいかに」と召しあれば、神無月の初めつ方より、また差し出でつつ、年も返りぬ。

問1 傍線部(A)の解釈として最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は

22  
24

- け さりぬべき人
- 22
- ⑥ ④ ③ ② ①
- ⑥ さくには立ち去りそうにない人  
④ 赤ん坊の乳母としてふまわしい人  
③ 話し相手となつてくれそうなる人  
② 赤ん坊の扱いが一応できる人  
① そう若くはないが由緒正しい人